

建築学科

建築デザイン研修1

対象	1 年次	開講期	通年	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	真田一穂 升水健太			実務 経験	有	職種	国内外の建築設計事務所にて建築設計監理業務に従事				

授業概要

国内外の建築物について事前のリサーチ、勉強会を実施し、訪問先となる建築、街の歴史、風土等の状況を学習する。その上で、実際に現地の建築物を訪問することにより、より広い視野で今後の建築創作活動に向き合うことを目指す。またこれらの経験を元に、進路選択の判断基準にも活かす。授業最終回では、研修内容をまとめたレポートを作成し、成果発表を行う。

到達目標

①建築物の建設目的、設計主旨等、建物が成立するまでのプロセスをリサーチした上で、実際に現地に赴きその建築空間や建築材料、建築構造を観察することができる。②その土地の歴史、気候風土、法規等の与条件からなる建築物の成り立ちを理解することで、広い視野で建築の知見を深めることができる。③研修を通じ、仲間と積極的にコミュニケーションを取り、建築技術者としての倫理観、応用能力、チャレンジ精神等、建築を学ぶ人間としてバランスのとれた感性を持つことができる。

授業方法

建築デザイン研修は希望者のみの開講とする。2023年度は、夏休み、冬休み、春休み期間中の1日～7日間程度の開催予定とする。事前研修で各訪問先の建築、街の事前リサーチを行い、各自、見どころ等について予習を行う。訪問先により全員行動とグループ行動を行う。全員行動では引率教員、現地ガイドと共に行動し、主に観光バスで各地を訪問する。グループ行動では、引率教員、ガイドとは別行動とし班単位で行動する。

成績評価方法

提出物、授業態度、平常点などを総合的に判断する。

履修上の注意

この授業では、能動的な調査、及び行動を重視する。事前勉強会での積極的な授業での発言、リサーチが重要となる。事前勉強会、現地での見学を通じ、最終成果物として研修レポートの提出を求める。研修時においては、日本工学院の学生としての自覚を持ち、訪問先の街では、基本的なマナーを重んじ、常識的な行動を心がける。研修中は引率教員、旅行会社及び現地ガイドの指示に従い、規律のある行動が求められる。

教科書教材

教員からの参考資料、各自収集した資料等。

回数	授業計画
第1回	建築デザイン研修ガイドンス 研修の主旨、目的を理解する。
第2回	事前学習① 訪問場所の地理、気候等の概要調査
第3回	事前学習② 訪問建築の概要調査（1）

第4回	事前学習③ 訪問建築の概要調査（2）
第5回	事前学習④ 訪問建築の概要調査（3）
第6回	事前学習⑤ 訪問建築の概要調査（4）
第7回	事前学習⑥ 訪問建築の概要調査（5）
第8回	研修1日目 建築見学・街歩き（1） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第9回	研修2日目 建築見学・街歩き（2） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第10回	研修3日目 建築見学・街歩き（3） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第11回	研修4日目 建築見学・街歩き（4） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第12回	研修5日目 建築見学・街歩き（5） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第13回	研修6日目 建築見学・街歩き（6） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第14回	研修7日目 建築見学・街歩き（7） 建築物、街並みの写真撮影、スケッチ等を積極的に行う。
第15回	解団式 建築デザイン研修最終報告会 レポートにまとめた内容について発表会を行う。